

## 医芸歌壇



### 新年

千葉 蒲谷 玲子

初霜の増して今はた白毛女髪の奢りは黄金と決めたり  
たらちねの父母も喜び給ふらん今日吾金寿七草粥の膳  
故郷よりの餅白々と掌に重しふと木枯の音を聞きしか  
三ヶ日晴天続き身を反らせ仰げば凜と冬枯れの木々  
中味をば知られ居りし福袋解体されてハンガーに満つ

### 淡路島・鳴門行

神奈川 武井 忠夫

元旦を鳴門の鯛で妻と寿ぎ淡路の島を巡る佳き旅  
窓(こまどり)に拝(拝む)る海の蒼くして 汀(みさき)の果ての鳴門大橋

満開の季はなぞえを掩(おおむ)うとふ淡路の島の水仙の郷

(灘黒岩水仙郷)

原寸の名画・壁画の千余点陶板に生(いき)くの迫真の館  
「楠公サン」と呼び親しむとふ湊川の正月詣での華やぎの朝

(灘・太塚国際美術館)

教育長も都医会長もわれよりも若きが述ぶる祝辞身に沁む  
障害を持つ学童の健康を願ひ診てはや三十六年

(やかた)

表賞状

表賞状

東京 林 宏匡

いまさらに「健康づくり功劳賞」三十六年校医努めて

表賞状承けて都庁の正面に出づれば眩しマリー・ゴーラード

孫のことを養護教諭と共に食す。バスターの味は一期一会か

水仙

東京 小松安彦

暖かき冬至なれども翌日の予想天気図完全に冬

年賀状書きつつ思ふはや既に忘れてをりぬ君の旧姓  
クリスマス終りてしまへば年末のきたりと仰ぐ冬の星座

関東の大地震を知る人も少なくなりぬ大正百年

水仙は一月に咲き追憶に子供は走る御殿への道

雀と女と夢

東京 田村 豊幸

古里の山の谷間の貝や蟹そのカルシウムいずこより採る  
古里の雀のさえずり雀語か人のおしゃべり人のさえずり  
古里の雀の声よ今頃は数代続く子孫の声か

もう居ない人との夢で今朝も明けきのうの朝と同じ人来る  
耳元のラジオ左と右の差は女性の位置の違い想えり

富士

東京 初芝 澄雄

暑き夏

秋霧朝光

日本晴れ富士高々と雪白く多摩川越しに遠く広がる  
駅伝の画面に浮かぶ選手像右手に遠く富士を望めり

山頂に向けて競いぬ選手達新しき年激戦に明け

神宮に紅葉映えたる木立あり戦に集いし記念碑の前  
秋ニレの木々を紅葉散冬急ぐ木立を縫いて駅に急げり

香風渓の旅

茨城 羽生 藤伍

蒲郡「プリンスホテル」二階より箱庭のと海は夕やけ

浜名湖の懷石料理待時間長く腹空き上品になる

冬の田の黄なる明るさ豊かなる孫生の稻刈るる家もなく

九十老グランドゴルフのスコア良し補聴器つけて飄然と行く

わが町の浜は明るく人多く谷は閑かな朝の散歩路

医家邦楽祭

東京 横田英夫

演目に友の名を見て思い立ち杖つきで出す医家邦楽祭

シテの舞謡に合わせ確と打つ一瞬の間合鮮やかにして

大鼓を撥止と打てる友の手の動きすばやし若者のと

紋服に正せる女性一齊に前に置きたる扇手にとる

唄い終り持ちし扇を前に置く所作の揃いて美しきかな

暮れゆけば淋しさつる夜ことに明日に希望をだいて眠らん  
郭公の声に目覚める暁の空におぼろな半月仰ぐ  
暑き夏思いおこすは幼らと汗を拭きつつ芋を掘りし日  
整然とひばの厚木積まれて木場にその香の満てる親しさ  
はらからぬ縁も淡くなりゆくか甥の婚儀を人づてに聞く

## 医学会総会 洋楽部のイベント会場は

シラヤアートスペースです

4月3日（日）午後2時開演

《演奏内容・敬称略》 萩野仁志、飯塚崇志、松木耀子、小川昭子、高野征夫、澄川和美、古坂明弘、山之内照雄、奥村秀ら会員の演奏や独唱など。

終了後懇親会（無料）、美術など作品も公開し表彰作品の選定を行います。ご来場をお待ちします。

◇アクセス 武新宿線小平駅南口から徒歩2分、白矢眼科医院に併設。JR中央線武蔵小金井、国分寺からも小平駅南口行きのバスがあります。

◇問い合わせ先 クラブ事務局へ

☎ 042-344-8056